

代 表 者

研 修 報 告 書

令和2年 8 月 12 日

各 会 派 代 表 者 殿

呉市議会議員

谷本 誠一

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和2年8月7日（金）午後5時～午後7時30分

2. 研修項目

広島憤排の会 第7回勉強会

演題＝ヒトを人間に育て上げる温・凜・厳の躰, 教育とは？  
．正しい教育理念を学びましょう！

3. 参加議員

谷本 誠一

# 研修報告書

令和元2年8月12日

呉市議会議長殿

呉市議会議員 谷本誠一

次のとおり研修に参加したので報告します。

## ■研修項目

「広島憤排の会」第7回勉強会  
演題＝ヒトを人間に育て上げる温・凜・厳の躰、教育とは？  
正しい教育理念を学びましょう！

## ■研修団体及び講師名

主催＝呉市市民公益活動団体「樹の音会」、広島憤排の会  
講師＝井口潔（九州大学名誉教授、日本外科学会名誉会長、日本癌治療学会会長）

## ■研修日

令和2年8月7日（金）午後4時15分～午後5時 →寺子屋「きのねっこ」見学  
令和2年8月7日（金）午後5時15分～午後7時半→勉強会

## ■研修目的

戦後の学校教育が画一的になったり、知識の詰め込みに傾斜している中、世界平和や日本の行く末を思い、他人を思いやる徳育の在るべき姿を学ぶ。

## ■研修内容

99歳の井口潔九州大学名誉教授を迎えての第7回勉強会がありました。新型コロナの影響もあって、7ヶ月ぶりに実現に漕ぎ着けました。

この日は、日本中世の教育「寺子屋」と、感性を大切にすることの重要性を説かれました。

氏は中学3年生の時、昭和のクーデターである2・26事件の報に接し、「日本はだめになった」と悲痛の叫びを上げたことを述懐。その後大戦に突入し、終戦を迎えて以降「人間教育不在」「道徳空白」が今日まで続いているのを目の当たりにし、一念発起されました。人間の「性（さが）」が犯した過ちの償いとその実践を決意し、「生物学的人間教育論」を提唱し、「形而上（城）の靖国」実現を目的に講義を行って来られました。

戦後教育は、GHQの影響下で米国流の子ども中心主義の教育が持ち込まれ、伝統的道徳教育が禁じられ、「自己完結」や「自己抑制」の美德が軽んじられました。即ち、教育の根本が間違った方向に誘引され、傍観者ばかりが排出され、本気の人間がいなくなったと嘆かれました。終戦によりこれまでの常識を抹殺され、戦中に止まらず、平和キャンペーン等「群集心理」という人間の性を巧みに利用した平和主義・個人主義が台頭し、自己抑制方教育が否定されたというのです。

生物では人間のみが心を持っているので、形而上の世界に生きようとしていると喝破。形而下たる物欲に囚われてはならないとしました。

一方、ノーベル生理学医学賞を受賞したフランスのアレキシス・カレルは、「人間は精神の発達を恣意的にしている」とし、このままでは人類は滅亡すると警鐘を鳴らしました。

人間は自意識を持ち、自身で価値判断をすることができます。子育てには愛情を中心に据えつつも、躰は必要だと説きます。即ち躰とは、形而上（こころ）の「魂の感化」だということです。母の躰により魂を感化させ、自己抑制教育で真逆の行為をした時に心的エネルギーが作用します。自己中心の我が儘から解放され、天下の掟に自然に従うようになるのです。

戦後は「自由」をはき違えた結果、子に対して何でも満足を与えようとする甘やかし教育に陥ったことが問題だったと指摘されました。生物学的「ヒト」は脳の器を作りますが、そこに中身である精神を注入することで初めて「人間」なれるのです。

特に女性は結婚し、妊娠し、子育ての使命を天から与えられており、その子育てこそが自己抑制そのものであるということです。ルソーは、子どもの願いを親が全て叶えて上げると逆に不幸になると言いました。躰こそが魂の感化でもあるのです。神経細胞は魂の感化による刺激を受けて形而上の次元に昇華します。

現在の学校教育には、全ての根本たる「人間は如何にして地球上に現れたか」を紐解かず、形而下（物質的）教育に成り下がってしまい、終戦の呪縛から糸を引いたままであると嘆かれました。人間は動物とは違って、自意識があり、悪しき意識を抑制し、よき意識を送り込むことこそ第一種教育であり、復活が望まれていると熱っぽく訴えられました。

我が儘は悪い脳を創ります。臓器は自然が創りますが、脳だけは自分が創造するといひます。自己責任で機能させ、自分の心は自分で創るのです。それは同時に自然の掟に従うことでもあります。これ即ち自分の人生は自分で創り、切り拓く訳です。  
その課程において、論理で創ろうとすると疲れますが、直感を重んじることで感化力がより発揮されることとなります。  
最後に、寺子屋教育とはこのような視点から、「人の役に立ち、人から可愛がられる人を創ることにある」とまとめられました。

講義に先立ち私は、寺子屋の実践指導の場を井口教授と共に見学することができました。この日は、6名の小学生が、塾長の号令の下、音楽教諭を招聘しての独特な教育を展開されていました。終了後に子ども達に対して、井口教授自身がモーツァルトの曲をピアノを演奏しつつ、短時間講義されたのには驚かされました。  
その子ども達は寺子屋教育で、驕による自己抑制を自分自身のものであるとして捉え、直後の井口教授による大人向け講義にも1時間、静かに受講していました。この間、子どもにとって難解な講義を誰も動き回ることなく、じっと聴き入っているけなげな姿に感銘を受けた次第です。

#### ■呉市での展開の可能性

- ①文科相の学習指導要領に縛られている我が国公教育の根本的見直しが必要である。
- ②呉市教育委員会においても、学習指導要領に呪縛があり、現段階では国からの教育改革がなされない限り不可能であろう。